

2024年度品質・環境目標

かわさきSDGsゴールドパートナーに認証された

選択番号	項目	取組	取組の具体的な内容	対応するSDGsゴール	対応するSDGsターゲット	指標例	2030年に向けた目標	目標に対する進捗測定方法
1	自社・自団体の事業・活動に伴う環境負荷を低減するためのマネジメント体制を構築している。	「ISO14001」、「エコアクション21」、「KES（環境マネジメントスタンダード）」など、環境マネジメントシステムに関する認証を取得している。	環境保全のため、設計から廃棄に至る各段階において省資源、省エネルギー、リサイクル、廃棄物削減など環境負荷の低減に取組み、資源、エネルギーを効率的に使用する。	   	1.5、3.9、6.3、7.2、7.3、8.4、11.6、12.2、12.4、12.5、12.6、13.3、14.1、14.3、15.1、15.2	環境マネジメント体制を構築している事業所の割合（全社に占める売上高、事業所数等の比率）等	環境及び人体に有害な化学物質は可能な限り代替技術の採用および代替え物質への転換を行う。	年一回以上ホームページ上に取組み状況を更新し公開する
2	ハラスメントを防止するための取組を進めている。	セクハラ、マタハラ、パワハラなどを防止するためのルール、制度構築、教育の実施、相談体制が整備されている。	社内外相談窓口の設置及び詳細規程の整備 ハラスメントに関する社内教育を行う	   	5.1、5.2、8.8、10.2、10.3、16.1	セクハラ、パワハラ研修等の受講者数、受講率等	ハラスメント研修等を管理職、一般職に分けて行う	経営管理部にて年一回実施し理解度を確認する
3	従業員・構成員に能力開発、教育訓練の機会や人材育成のための仕組みを提供している。	従業員、構成員の自己研鑽のための研修機会を提供している、または研修費用を一部／全部負担している。	現在の研修制度の見直しを含めて、より参加率を上げるための方法を構築すること、また実務に役立つ研修や試験に対して会社負担を行う	 	4.4、4.5、8.5	自己研鑽のための研修受講者数、受講率等	一般社員から幹部への階層別の研修制度の確立を行う	各部門での半期ごとの評価シートに記載し、評価により確認する